

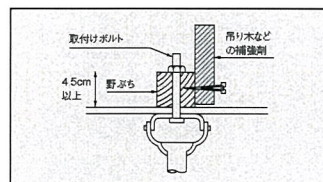
一般器具の取付け方法

吊り下げ器具・直付け器具 取付け方法の例

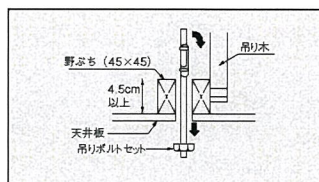
■商品に同梱包の木ネジで取り付ける場合には、取付面の強度を確認してから取り付けてください。

■取付け方法の指定のある器具は、必ず指定方向に取り付けてください。

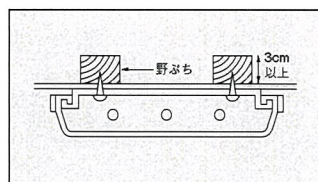
またカタログ写真と異なる方向で取り付ける場合は、担当者に必ずお問い合わせをお願いいたします。



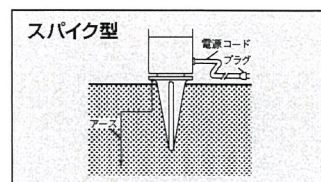
A: 10kg 以上、30kg 以下のシャンデリアなど吊り下げの場合



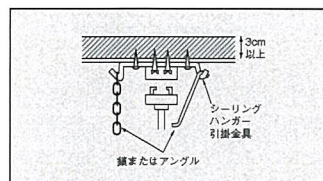
B: 30kg 以下のシャンデリアやシーリングなどの場合 (天井下から取り付けられる吊りボルトセットを用意しています。別途ご用意ください)



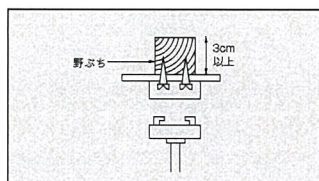
C: 5kg 以下のシーリングなどの場合



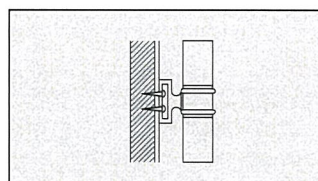
地面に差し込むだけ。工事の必要がない簡易型です。キャプタイココードが付いていますので、屋外コンセントがあれば取り付けられます。



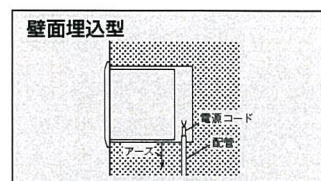
D: 重いペンダントなどの場合



E: コードペンダントなどの場合



F: ブラケットなどの場合



切り込み寸法加工の際は精度にご注意ください。タイルなどの壁面材の場合には詳細なお打ち合わせをお願いいたします。

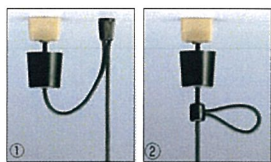
取付簡易型フランジについて

取付簡易表示の商品は、取付簡易型フランジが付いています。マンションや公園などで天井に右のような引掛埋込ローゼットが付いているところでは、ドライバー1本で簡単に取付けられます。



引掛シーリングについて

- ①コードは1.5または2mでコードハンガー・フランジカバー付きの引掛シーリングです。
- ②引掛シーリング同梱包でコード0.8m、中間ハンガー・フランジカバー付きです。(輸入品については、引掛シーリング同梱包でコード1.5m、中間ハンガーなしとなります。)



配線器具対応表

○ … 一般のお客様ご自身で取付できます。
× … 有資格者による取付工事が必要です。

配線器具	ローゼットタイプ		シーリングタイプ			ライティングレール
	フル引掛ローゼット	引掛埋込ローゼット 引掛露出ローゼット	丸型フル引掛シーリング	丸型引掛シーリング	角型引掛シーリング	
引掛シーリング	○	○	○	○	○	×
かんたん	○	○	○	○	○	×
取付簡易	○	○	×	×	×	×
ダクトプラグ	×	×	×	×	×	○
（ ）	×	×	×	×	×	×

※ () の表示されている器具の取付は電気工事に依頼して下さい。
マークの下に「ボルト」の記載がある器具は、ボルトを使用して固定して下さい。

防雨・防湿型器具

■防雨・防湿型

湿気が多い場所、浴室・洗面所。雨の降りかかる心配のあるポーチ・軒下などでも使える防雨・防湿機能を備えています。

■防雨型

ポーチ・軒下など雨が降りかかる場所に使用できます。防湿機能は備えていませんので浴室などへの使用はお避けください。

取付け場所や条件に合わせて4タイプの器具があります。

※器具の取付けは必ず壁面と器具取付部のゴムパッキンが密着するようにしてください。

■防湿型

浴室・洗面所など湿気が多い所に取り付けてください。

■防滴型 (軒下専用)

屋外でも直接雨や風の影響を受けない場所での使用に適しています。

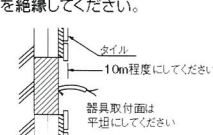
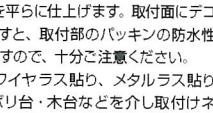
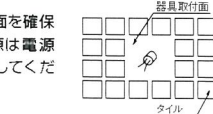
防雨・防湿・防湿・防滴 防雨型器具の施工方法

◎ご注意

- ガラスにヒビ、割れなどを生じたものは使用しないでください。
- ソケットパッキンとランプ口金パッキンはしっかり密着するようにねじ込んでください。
- 接地(アース)工事は、法規で定められていますので必ず行ってください。
- 器具本体への雨水等浸入防止のため、取り付けは、平らな面に防水パッキン・木台などをご使用ください。
- 薄い天井・壁への取付けには、補強材を入れてください。
- 取付け方法の指定してある器具は、変形や絶縁不良などの原因になるおそれがありますので、指定方向に取り付けてください。それ以外の商品で、カタログ写真と異なる方向で取り付ける場合は、担当者に必ずお問い合わせをお願いいたします。
- 商品の分解、および他の商品・ガラスの流用もお避けください。

取付け方法 (タイル貼りの場合)

1. 器具の取付面を確保します。電源は電源穴位置に出してください。
2. 器具取付面を平らに仕上げます。取付面にデコボコがあると、取付部のパッキンの防水性が損なわれますので、十分ご注意ください。
- ※躯体が木造ワイヤラス貼り、メタルラス貼りの場合は、ポリ台・木台などを介し取付けネジとラスの間を絶縁してください。



3. 器具取付けの際は、必ず付属の防水パッキンを使用してください。防水パッキンが使用できない場合は、壁面と器具本体にコーキング処理を行ってください。

